

I 敷地・外構の点検

- ① 舗装・道路等
- ② マンホール
- ③ 側溝・排水溝
- ④ 校門・ゲート
- ⑤ フェンス・塀・手すり
- ⑥ 樹木・藤棚・像等
- ⑦ 掲揚台（塔）・遊具
- ⑧ 防球ネット
- ⑨ 斜面
- ⑩ 擁壁
- ⑪ 外倉庫・キュービクル等
- ⑫ 屋外プール

① 舗装・道路等

点検方法	教育委員会報告
目視	○

舗装にひび割れや段差ができていませんか。

◆視点

舗装が地盤沈下や地震などで割れることがあります。人が落ちたり、つまずいたり、自転車等のタイヤが溝にはまったりしそうな箇所がないか点検します。

◆対応

危険な箇所が見つかった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにし、教育委員会に報告しましょう。



写真1：大きな凹み



写真2：傷んだ舗装

② マンホール

点検方法	教育委員会報告
目視	○

マンホールや側溝の蓋が外れたり、損傷したりしていませんか。

◆視点

マンホールや側溝、グリストラップの中に人が落ちると大変危険です。蓋が外れていないか、腐食していないか、損傷はないか点検します。また、蓋の浮きやガタつき、段差がないかについても点検します。

グリストラップ・・・排水中の生ごみ・油脂などを直接下水道に流さないために一時的にためておく設備。

側溝・・・排水のために道路の端または歩車道に設けられている溝。



写真1：グリストラップ

◆対応

外れている蓋を閉める際には、重たいものもあるので、十分に気を付けましょう。また、腐食や損傷によって蓋に乗った人が落下する危険がある場合は、カラーコーン等で近寄れないようにし、教育委員会に報告しましょう。



写真2：段差が見られるマンホール

③ 側溝・排水溝

点検方法	教育委員会報告
目視	○

側溝や排水溝が詰まっていますか。

◆視点

側溝や排水溝が泥や草で詰まっていないか点検します。詰まっていると、雨水などが十分に排水されず、グラウンドの湯きが遅くなったり、雨どいを水が逆流したりすることがあります。

◆対応

清掃しましょう。日常の清掃分担に組み込んだり、定期的に一斉清掃を行ったりするとよいです。清掃が困難な場合は、教育委員会に報告しましょう。

雨どい . . . 屋根やバルコニーに降った雨を集めて排水する管。

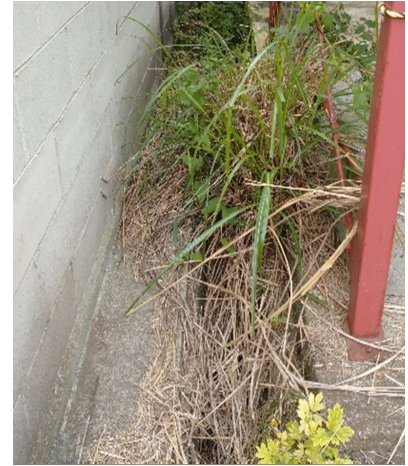


写真1：草が生い茂った側溝

④ 校門・ゲート

点検方法	教育委員会報告
目視・負荷・作動	○

校門に傾き・腐食・変形はありませんか。

◆視点

雨風にさらされたり、物がぶつかったりすると、校門や柱に不具合が生じます。校門や校門を支える柱が腐食していないか、開閉はスムーズにできるか、傾いていないか点検します。また、校門だけではなく、車輪やレールについても点検します。

◆対応

危険な箇所が見付かった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにしたり、貼紙等で注意喚起をしたりして、教育委員会に報告しましょう。



写真1：近寄らないようプランターを設置した校門

⑤ フェンス・塀・手すり

点検方法	教育委員会報告
目視・振動・負荷	○

フェンスや塀, 手すりに傾き・腐食・変形はありませんか。

◆視点

フェンスに, ぐらつきや腐食し穴が開きそうなところがないか, 塀に割れや傾きがないか点検します。

また, 階段やスロープの手すりについて, ぐらついていないか, 壁などへの取付け部分(特に, 根本の部分)が腐食していないか, 利用者がけがをするような部分がないか点検します。

寄りかかったり, ぶら下がったりしていないか, 利用方法についても観察しておくことが大切です。



写真1：鉄製の手すり

写真2：腐食部分

◆対応

危険な箇所が見つかった場合は, カラーコーンなどで近寄れないようにしたり, 貼紙やロープ等で注意喚起をしたりして, 教育委員会に報告しましょう。

⑥ 樹木・藤棚・像等

点検方法	教育委員会報告
目視・負荷	○

樹木, 藤棚, 像等にぐらつきや傾き・腐食・変形はありませんか。

◆視点

樹木や藤棚が倒れたり, 落枝したりすると危険です。不自然な傾きが見られないか, 樹幹や枝に空洞や亀裂, 腐食等が見られないか点検します。

また, 像は, ぐらつきがないか, 土台や取り付け部分に亀裂や激しい腐食がないか点検します。

◆対応

危険な箇所が見つかった場合は, カラーコーンなどで近寄れないようにしたり, 貼紙等で注意喚起をしたりして, 教育委員会に報告しましょう。



写真1：近寄れないようロープが張られた藤棚

⑦ 掲揚台(塔)・遊具

点検方法	教育委員会報告
目視・打音・振動・負荷	○

掲揚台(塔), 遊具に傾き・腐食・変形はありませんか。

◆視点

掲揚台(塔)や遊具にぐらつきがないか、激しい腐食、利用者がけがをしそうな部分がないか点検します。

遊具は、子どもたちの想定外の利用を前提に、想像力を働かせながら、遊具やその周辺を点検します。普段、子どもたちがどのように遊具を利用しているか観察し、記録しておくことも危険の予知に役立ちます。

◆対応

危険な箇所が見つかった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにしたり、貼紙等で注意喚起をしたりして、教育委員会に報告しましょう。



写真1：接合部分 写真2：掲揚塔

⑧ 防球ネット

点検方法	教育委員会報告
目視・打音・振動・負荷	○

防球ネットの支柱にぐらつき・傾き・腐食・変形はありませんか。

◆視点

防球ネットの支柱にぐらつきがないか、激しい腐食、利用者がけがをしそうな部分がないか点検します。

◆対応

危険な箇所が見つかった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにしたり、貼紙等で注意喚起をしたりして、教育委員会に報告しましょう。



写真1：グラウンドのバックネット

⑨ 斜面

点検方法	教育委員会報告
目視・触診	○

斜面に亀裂・変形・沈下はありませんか。

◆視点

法面に亀裂や膨らみがないか、小規模な崩壊が起きていないか点検します。

◆対応

危険な箇所が見つかった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにし、教育委員会に報告しましょう。

特に、雨天の後などは近寄らないよう注意しましょう。



写真1：通学路沿いの斜面



写真2：崩壊部分を覆ったブルーシート

⑩ 擁壁

点検方法	教育委員会報告
目視・触診	○

擁壁に膨らみや亀裂はありませんか。

◆視点

擁壁は裏側から土や水の力で押されているので、亀裂がないか、膨らんでいないか、石がずれていないか点検します。

◆対応

大雨の後の観察や記録を残しておくことで、状況の変化に対応できるようにしておくとともに、危険な箇所が見つかった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにし、教育委員会に報告しましょう。また、水抜き穴が詰まっていたら清掃しましょう。

擁壁・・・切土あるいは盛土による急斜面の土の崩壊を防止するための構造物。

水抜き穴・・・雨水など擁壁内の土に浸透した水を抜くため擁壁の各所に水抜き用にパイプ等を設置したもの。



写真1：敷地内の擁壁

⑪ 外倉庫・キュービクル等

点検方法	教育委員会報告
目視・傾聴・触診	○

外倉庫やキュービクルの腐食・損傷・異常音・異臭・発熱等はありませんか。

◆視点

外倉庫や外灯油タンク小屋は、建物にぐらつきや腐食、損傷がないか、内部から異常音や異臭等がないか点検します。

また、キュービクル内には決して入らずに、本体から異音、異臭、異振動がないこと、施錠されていることを点検します。併せて、分電盤・配電盤から、異音、異臭、発熱がないかについても点検します。

◆対応

外倉庫、キュービクル等に危険な箇所が見つかった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにしたり、貼紙等で注意喚起をしたりしましょう。

キュービクル・分電盤・配電盤に異音、異臭、異振動、発熱がある場合は、教育委員会に報告しましょう。

キュービクル・・・ 高圧で受電した電流を変圧器で100V等まで下げる設備。



写真1：キュービクル

⑫ 屋外プール

点検方法	教育委員会報告
目視・触診	○

プール内やプールサイドに段差・亀裂・破損・漏水・発錆はありませんか。

◆視点

プール内やプールサイドは、肌を露出して移動するので擦り傷や切り傷に直結しやすい場所です。プール内やプールサイドに段差・亀裂がないか、プール周辺のフェンスに破損等がないか、トイレや更衣室など関連する施設の状態も点検します。

特に、排水溝を塞ぐボルトが緩んでいないかを確認することは大切です。プール内部の給排水溝の不備は事故に直結するので、プールの使用前等後等に複数の目で点検します。

◆対応

危険な箇所が見つかった場合は、カラーコーンなどで近寄れないようにしたり、貼紙等で注意喚起をしたりしましょう。

破損部分にはテープを巻くなど応急処置をして、教育委員会に報告しましょう。



写真1：プールサイド・フェンス



写真2：さび



学校安全委員会 R4.5・6